留学生のための入学案内

Guide for International Students

Akita University

Overview of Akita University

秋田大学は、国際資源学部、教育文化学部、医学部、総合環境理工学部、情報データ科学部及び大学院で構成される国立の総合大学です。秋田師範学校、秋田青年師範学校及び秋田鉱山専門学校を母体とし、1949年に発足しました。

Contents

03 在籍者数
秋田の伝統文化・四季
04 学部紹介
05 大学院紹介
06 学生生活
08 入学制度
学費
09 経済支援
サポート制度
施設紹介
10 住まい
11 先輩からのメッセージ

在籍者数（2026年5月1日現在）

◆学　生　数：5,197名（学部生4,349名、大学院生848名）
◆留学生数：　272名（学部生172名、大学院生100名）※学位取得目的の留学生を含む。

学　　部	学生数	留学生数		
		学位取得目的	短　期	合　計
国際資源学部	525名	37名	1名	38名
教育文化学部	863名	6名	27名	33名
医学部	1,219名	0名	0名	0名
総合環境理工学部(理工学部含む)	1,529名	96名	2名	98名
情報データ科学部	213名	3名	0名	3名
合　計	4,349名	142名	30名	172名

研究科	学生数	留学生数		
		学位取得目的	短　期	合　計
国際資源学研究科	154名	56名	0名	56名
教育学研究科	53名	0名	0名	0名
医学系研究科	235名	7名	0名	7名
理工学研究科	389名	36名	1名	37名
先進ヘルスケア工学院	17名	0名	0名	0名
合　計	848名	99名	1名	100名

秋田

豊かな自然と伝統文化　四季の移り変わり…

秋田県は日本海に面した本州の北部に位置しています。世界遺産の白神山地、日本で最も深い湖である田沢湖、八幡平や男鹿半島などに象徴される豊かな自然に囲まれ、四季の移り変わりを感じることができます。春には桜まつり、夏には東北三大祭りに数えられる竿燈（かんとう）まつり、秋には紅葉、冬にはスキー・スノーボードをはじめとしたウィンタースポーツのほか、雪国ならではの数々の冬の祭りが楽しめます。

秋田大学のキャンパスのある秋田市は、人口約30万人。秋田県の県庁所在地として政治、経済の中心を担っています。交通の利便性も良く、都心に比べて物価も安いため、留学生活を送るのに適した環境です。

竿燈（かんとう）まつり

毎年8月3日～6日に秋田市で行われる祭りです。竿燈は最も大きなもので高さ約12メートル、重さ約50キロになります。この大きな竿燈を手、腰、額などで支えてバランスを取り、技を競い合います。大学にもチームがあります。

なまはげ行事

男鹿半島に伝わる伝統的な民俗行事で、毎年大晦日(12月31日)の夜に行われます。なまはげは神々の使者とされています。

田沢湖

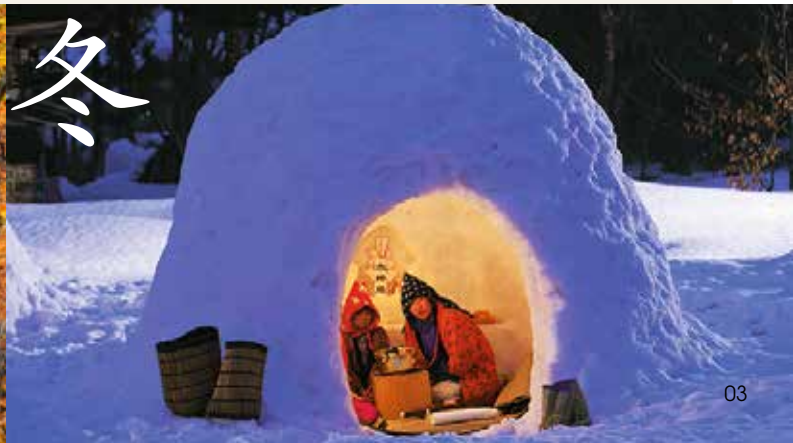
仙北市にある日本一深い湖です（最大深度423.4m）。大学から約1時間の距離にあり、周辺ではカヌーやラフティングが楽しめます。

きりたんぽ鍋

きりたんぽとは、秋田の郷土料理で、ご飯をつぶして棒に巻き付けて焼き、食べやすい大きさに切ったものです。鶏肉や野菜、きのこなどを入れた鍋料理を「きりたんぽ鍋」と言います。

温　泉

秋田には数多くの温泉があり、乳頭温泉郷や玉川温泉などが有名です。写真は、乳頭温泉郷にある露天風呂です。



学部紹介 Undergraduate

国際資源学部

国際資源学部は、現在世界が直面している資源問題、経済のグローバル化の進展を背景に、グローバルに資源分野で活躍できる人材育成を目指し、2014年に設置されました。これまで秋田大学が培ってきた資源学教育を礎に、国内外の大学や企業との連携体制を強化し、英語による専門教育、海外資源フィールドワークの必修化、文理融合型教育といった特色ある教育を行います。政治学や経済学、資源国とのビジネスや国際協力、その背景となる資源地域の文化や歴史、宗教など人文社会科学の視点から資源を学ぶ「資源政策コース」、資源を生み出す地球規模の自然現象、地球史、地球を構成する物質やその分布と探査について学ぶ「資源地球科学コース」、地球環境に調和した資源開発・生産技術、リサイクル・製錬技術、環境保全などの関わる専門分野を学ぶ「資源開発環境コース」の3コースからなります。

国際資源学科	資源政策コース	資源地球科学コース	資源開発環境コース

教育文化学部

教育文化学部は、小学校・中学校等の教員を養成する「学校教育課程」と、地域の振興に貢献する人材の養成を行う「地域文化学科」の1課程1学科(6コース)からなります。秋田県は小学生・中学生を対象とした日本国内の学力調査で全国トップクラスの成績になっています。学校教育課程は、全国最高水準の教育を行っている学校との連携により、最先端の教育方法などについて実践的に学ぶことができます。地域文化学科では、社会科学と人文科学を中心とする多様な学問分野の学習と、地域と連携した授業やフィールドワークなどの実習を通じて、地域の諸課題について実践的に学ぶことができます。また、心理の専門職の資格取得につながる心理学についても学ぶことができます。

学校教育課程	初等中等教育コース(教育実践プログラム・英語教育プログラム・理数教育プログラム)		
	特別支援教育コース	こども発達コース	
地域文化学科	地域社会コース	国際文化コース	心理実践コース

医学部

医学部は、豊かな教養に支えられた人間性、学問の進歩に対応しうる柔軟な適応能力と課題探究・問題解決能力を養い、医学・健康科学に対する充分な理解のもとに、人々の健康と福祉に貢献できる国際的視野を備えた人材を育みます。卒業後は、臨床現場で医療人として活躍する道のほか、大学院に進学し、研究者や教育者をはじめとする医学医療の高度な専門家を目指す道が開かれています。

医学科			
保健学科	看護学専攻	理学療法学専攻	作業療法学専攻

総合環境理工学部

総合環境理工学部は、総合的に科学技術を学び、グリーン社会実現に関連した教育を強化して最新の科学技術や環境技術に対応した教育研究を推進します。分野横断教育を強化し、科学技術に関する専門知識・技能を身に付け、かつ、専門性の異なる他者と共創できる能力を育みます。
具体的には以下の3学科(8コース)からなります。

応用化学生物学科	生物学コース	有機・高分子化学コース	応用化学コース
環境数物科学科	数理科学・地球環境学コース	機能デバイス物理コース	
社会システム工学科	モビリティコース	電気システムコース	社会基盤コース

情報データ科学部

令和7年4月に開設した情報データ科学部では、情報学とデータサイエンスを体系的に学ぶことができます。最先端の情報技術を学び、ビッグデータを解析する力を身に付けることで、現代社会の課題解決を目指したり、新たな価値を創造したりすることができるデジタル人材を養成します。

情報データ科学科

大学院紹介 Graduate

国際資源学研究科

国際資源学研究科は、地球規模の課題となった資源問題の解決を目指し、創造性豊かな人間性と国際的視野を併せ持ち、将来の資源エネルギー戦略の発展・革新を担う人材を養成します。特に、海外からの留学生の受け入れについては、積極的に行います。全ての講義が英語で行われており、研究活動も英語でのディスカッションが中心です。英語で履修し学位取得が可能です。

博士前期課程[修士(資源学・理学・工学)]
- 資源地球科学専攻
- 資源開発環境学専攻

博士後期課程[博士(資源学・理学・工学)]
- 資源学専攻

医学系研究科

医学系研究科は、人類の健康・福祉の発展に寄与する医学・医療・生命科学の最先端研究を推進し、国際的視野を備える優れた研究者・高度専門医療人を育成することを目的としています。

修士課程[修士(医科学)]
- 医科学専攻

博士課程[博士(医学)]
- 医学専攻

博士前期課程[修士(看護学、リハビリテーション科学)]
- 保健学専攻　看護学領域　リハビリテーション科学領域

博士後期課程[博士(保健学)]
- 保健学専攻　生涯発達・健康支援看護学分野　生活機能・健康行動支援科学分野

理工学研究科

理工学研究科は、高度な専門知識・技術を原理的なところから体系的に修得し、柔軟性・国際的視野・確かな倫理観を持って、地方創生さらには我が国の持続的発展に寄与貢献できる人材の育成を目的としています。

博士前期課程[修士(理学・理工学・工学)]
- 生命科学専攻
- 物質科学専攻
- 数理・電気電子情報学専攻
- システムデザイン工学専攻
- 共同サステナブル工学専攻

博士後期課程[博士(理学・理工学・工学)]
- 総合理工学専攻

博士後期課程では各カリキュラムを英語で履修できる英語による特別コースも設置しています。

先進ヘルスケア工学院

医学系研究科と理工学研究科、さらに高齢者医療先端研究センターが連携して教育課程を構築し、超高齢社会を迎えた地域に暮らす人々の、日常生活におけるヘルスケアから、医療の診断・治療および予後までを対象とし、現場で起こる諸問題をICTとデータサイエンスの利活用によって解決し、活力に満ちた超高齢社会に貢献するとともに、創出する新しい機器やシステムなどの研究成果を、世界に発信できる人材を育成することを目的とします。

修士課程[修士(工学)]

学生生活 Campus Life

新留学生オリエンテーション

秋田での生活を開始する際に必要な手続きや、日本での生活で注意するべきこと等、留学生の皆さんに必要な情報をお伝えします。大学内を案内するキャンパスツアーもあります。

8月　竿燈祭

楽しい行事がたくさんあります！

4 APRIL
5 MAY
6 JUNE
7 JULY
8 AUGUST
9 SEPTEMBER

新留学生オリエンテーション
入学式

前期授業（4月～8月）

10月　農家民泊

新留学生
オリエンテーション

10 OCTOBER
11 NOVEMBER
12 DECEMBER
1 JANUARY
2 FEBRUARY
3 MARCH

卒業式

後期授業（10月～2月）

農家民泊

このイベントでは、農作業や農家民泊でのホームステイを体験します。

スキーツアー

留学生と日本人学生を対象としたスキーツアーです。インストラクターもいますので、初めての方も安心です。

2月　スキーツアー

入学制度 Admissions

1 私費留学生

分　類	目　的	説　明	出　願
学部学生	学位取得（学士）	大学に４年（医学部医学科は６年）以上在学し、所定の単位を取得すると学位が与えられます。	別紙「私費外国人留学生の入学者選抜」参照
大学院学生	学位取得（修士・博士）	所定の単位を修得し、在学中に学位論文の審査及び最終試験に合格すると、学位が与えられます。 （修士）国際資源学研究科博士前期課程、医学系研究科修士課程及び博士前期課程、理工学研究科博士前期課程、又は先進ヘルスケア工学院修士課程に2年以上在学が条件です。 （博士）国際資源学研究科博士後期課程に3年以上、医学系研究科博士課程（医学専攻）に4年以上､医学系研究科博士後期課程（保健学専攻）に3年以上、又は理工学研究科博士後期課程に3年以上在学が条件です。	各研究科のウェブサイト参照
交換留学生	学位取得を目的としない	学生交換の覚書を結んでいる国際交流協定校に在籍する学生が対象です。本学で１学期又は２学期、科目を履修します。	国際交流協定校を通じて募集を行います
科目等履修生	学位取得を目的としない	本学が開設する授業科目を履修し、履修した科目の成績評価基準を満たすと所定の単位が認定されます。	各学部・研究科に要個別相談
研究生	学位取得を目的としない	指導教員の指導のもとで、特定の研究テーマについて研究を行う学生です。主に大学院への進学を目的としています。	

2 国費留学生　※希望する方は文部科学省のウェブサイトをご参照ください。

分　類	目　的	説　明	出　願
学部学生	学位取得（学士）	１の学部学生と同じ	大使館推薦（在外日本公館に申請）と大学推薦（在籍又は出身大学に相談）の2つがあります。
研究留学生（大学院学生）	学位取得（修士・博士）	１の大学院学生と同じ	
	学位取得を目的としない	１の研究生と同じ	
日本語・日本文化研修留学生（日研生）	学位取得を目的としない	日本語能力及び日本事情、日本文化の理解の向上のための教育を受けることを目的とし1年間在学します。	
教員研修留学生（教研生）	学位取得を目的としない	大学等を卒業した者で、自国の現職教員及び教員養成学校の教員であること、また日本語を学習し、かつ日本語で研究指導を受ける者が対象です。	大使館推薦のみ（在外日本公館に申請）

※秋田大学においては、一部の授業･プログラムを除き日本語により授業が行われますので、十分な日本語能力が必要です。

学費（2026年度入学者） Tuition Fees (2026 Enrollment)

区　分	授　業　料	入　学　料	検　定　料
学　部　学　生	年額 535,800円※	282,000円	17,000円
大　学　院　学　生	年額 535,800円※	282,000円	30,000円
交　換　留　学　生	秋田大学と国際交流協定校との間で締結された「学生交換に関する覚書」に従い、秋田大学における授業料が免除されます。		
科　目　等　履　修　生	１単位 14,800円	28,200円	9,800円
研　究　生	月額 29,700円	84,600円	9,800円

※授業料は、年額を前期と後期に1/2ずつ納付します。
※国費留学生は、本学における授業料、入学料、検定料はかかりません。

経済支援 Financial Support

経済支援

(1)入学料徴収猶予(私費外国人留学生対象)

特定の要件を満たした者に対して、入学料の徴収を猶予する制度です。

詳細は秋田大学ウェブサイト「学費・生活費・奨学金制度」(https://www.akita-u.ac.jp/honbu/life/li_lifesupport.html)又は、9月中旬発表予定の「秋田大学私費外国人留学生入試学生募集要項」をご参照ください。

(2)奨学金制度

※奨学金の受給者は、申請後、審査のうえ決定されます。全員が受給対象となるわけではありません。

a留学生受入れ促進プログラム

日本学生支援機構(JASSO)による、私費外国人留学生(交換留学生を除く。)を対象とした制度です。

b民間団体、地方自治体の奨学金

私費外国人留学生(交換留学生を除く。)を対象とした様々な奨学金制度があります。

サポート制度 Support System for International Students

■担当指導教員

留学生の皆さんには担当指導教員がつきます。学習や進学、生活についての指導・助言を行います。

■チューター制度

皆さんが大学での学習や日常生活を不自由なく送れるよう支援するチューターという学生が皆さんをサポートします。

サポート例

・皆さんの日本語の指導　・研究の指導アドバイス　・生活品の買い物
・授業の予習・復習のサポート　・いろいろな手続きのための市役所などへの同行

■就職サポート

秋田大学では、これまでも多くの留学生が日本企業へ就職しています。学生支援・就職課では、日本での就職を希望する留学生をサポートしていますので、悩んでいることや分からないことがあれば気軽にご相談ください。

〈就職サポートの例〉

・留学生対象就職ガイダンスの開催　・就職相談の受付(履歴書の添削や、面接練習も対応可能です)
・合同企業説明会など、学内外で開催される留学生対象就職イベントのお知らせ

〈学生の声〉

私が初めて仕事を探し始めたとき、日本語を書くことに不安を感じ、面接を受けることをためらっていました。しかし、就職推進担当の職員の方がエントリーシートを添削し、面接練習を手伝ってくれました。また、熱心に私の疑問に答えてくれました。それにより、自信を大いに持つことができ、自分に合った仕事を見つけました。

施設紹介 Facilities

手形食堂
手頃な価格で良質な食事を提供しています。

パンココ(生協1階)
お弁当や飲み物などの軽食を購入することができます。

Coople(生協2階)
教科書、その他書籍や文房具を購入することができます。

図書館
自習スペースもたくさんあります。

多文化交流ラウンジ
留学生が自由に使えるスペースです。平日の8:30～17:00まで開いています。

国際課
留学生の皆さんへ生活支援を行っています。困ったことがあればいつでも相談に来てください。

保健管理センター
医師、看護師、カウンセラーがいます。

住まい Accommodation

施設紹介動画！

English Sub　Chinese Sub

1. 留学生のための寮

1 国際交流会館

大学まで徒歩5分

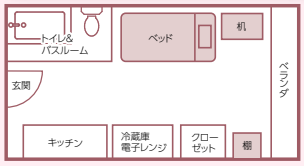
寄宿料	(A棟)単身室:5,900円/月 (B棟)単身室:15,000円/月 ※水道・電気代など別途かかります。
入居期間	1年以内

学生の声

快適な学生生活のために必要な設備が整っているので、私は国際交流会館での生活に満足しています。綺麗で新しく立地が良くてとても便利です。さらに、友達とお茶をするために大きなラウンジを使うこともできます。

2 留学生会館

大学まで徒歩15分



寄宿料	単身室:5,900円/月 ※水道・電気代など別途かかります。
入居期間	1年以内

学生の声

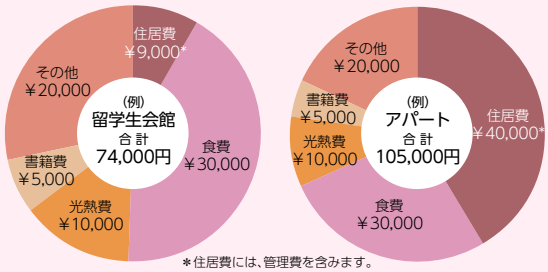
留学生会館は家賃も安いし、交通も便利だし、周りにスーパーもいっぱいあるので、とてもいいところだと思います。

3 西谷地寮(男子寮)

大学まで徒歩15分

日本人学生と混在の寮です。修学年限まで入居可(留年した場合は卒業前に退寮)、寄宿料は20,000円/月です。入学時、在学中に寄宿料が改定された場合は、改定時から新寄宿料が適用になります。

生活費の目安（1ヶ月あたり）



＊住居費には、管理費を含みます。

コンビニ　スーパー　郵便局

2. 民間アパート

大学生協や民間の不動産会社で物件を紹介しています。家賃は、地域や部屋の新旧等によって異なりますが、おおよそ6畳(キッチン、バス、トイレ付)で月額40,000円前後です。

※契約の際には敷金・礼金等合計で2～3か月分の家賃相当額が必要となる場合があります。

先輩からのメッセージ Message from Students

トブシンバヤル フスレンさん（モンゴル）

理工学部　物質科学科　応用化学コース

秋田大学に入学してから、私の夢に一歩近づくことができたと思います。学問的にも個人的にも成長に満ちた旅でした。秋田大学での生活は、新しい友人との出会いがあり、多くの喜びと学びがあります。秋田大学が主催するたくさんのプログラムやイベントの中で、私は日本の芸者の舞踏を見たり、地元の農家での生活を体験したりしました。そこから日本人の生活を知り、日本の文化をより深く理解することができました。秋田大学はそのようなプログラムを提供し、異文化交流の機会を与えてくれる場所です。

困ったことがあっても先輩たちや友達は親切で、私を支えてくれました。また、図書館や専門書店には様々な本が揃っていて、自分の興味に合った本を見つけて勉強することができ、とても充実した時間を過ごすことができます。そして秋田県の水が綺麗でお米やお料理が美味しいです。秋田にいる間「秋田の食べ物」を楽しむことができます。夏には、日本一深い湖である田沢湖に行き、秋には「湯の又の滝」に行くなど、秋田の自然の美しさを体験する機会も多いです。

秋田大学で勉強をしながら、たくさんの経験をして、自分自身も成長しています。皆さんにも、これから色々学びながら楽しんでほしいです。

ヴィチットバンチョンディー アヌパットさん（タイ）

国際資源学研究科　資源地球科学専攻

私の夢のひとつは、留学をして視野や機会を広げることでした。日本は子供の頃から私の理想とする留学先であり、慎重に検討をした結果、研究の機会や文化的な多様性のある環境が得られることから、秋田大学で新しい生活をスタートすることにしました。

秋田大学は、日本文化に浸りながら世界の留学生と交流したい人にとって最適な場所のひとつです。交流活動も様々なスタイルがあり、人種や性格に関係なく、学内・学外を問わず、自分の好きな場所で交流することができます。スタッフの皆さんも優しいので、何でも気軽に相談できます。

キャンパスから離れると、秋田市は賑やかすぎず静かすぎず、基本的な施設やレジャーへのアクセスも良いため、穏やかに生活することができます。また教室を出れば、四季折々の秋田の魅惑的な自然や観光スポットがあり、そういった場所でのんびり過ごすことも、私には重要な魅力です。

文化の違いに順応することも大切です。キャンパス内の学部や研究室だけでなく、キャンパス外の社会もそうです。日本にいる外国人にとって、日本語や文化、そして独特のシステムを学ぶのは本当に大変なことです。しかし、この難しさにうまく対処できるようになれば、内面から成長し、秋田ならではの魅力も満喫できることでしょう。

学部入学の流れ（私費外国人留学生）

●本学へ出願する前に、日本学生支援機構が実施する日本留学試験を受験する必要があります。

STEP1	STEP2	STEP3	STEP4	STEP5
秋田大学私費外国人留学生入試学生募集要項（願書）を入手	出　願	個別学力検査の受験	合格発表	入学手続
9月下旬公表予定				
	国際資源学部・教育文化学部・総合環境理工学部・情報データ科学部			
	2026年12月16日(水)~12月18日(金)	2027年1月22日(金)	2027年2月10日(水)	2027年2月16日(火)~2月17日(水)
	医学部			
	2027年1月25日(月)~1月27日(水)	2027年2月25日(木)[医医・医保] ~2月26日(金)[医医]	2027年3月7日(日)	2027年3月14日(日)~3月15日(月)

私費外国人留学生入試学生募集要項（願書）の請求方法

秋田大学私費外国人留学生入試学生募集要項（ＰＤＦ）はホームページで確認できます。

入試情報 → 入試の要項 → 学生募集要項（私費外国人留学生入試）

願書の請求方法は、募集要項又はホームページで確認してください。

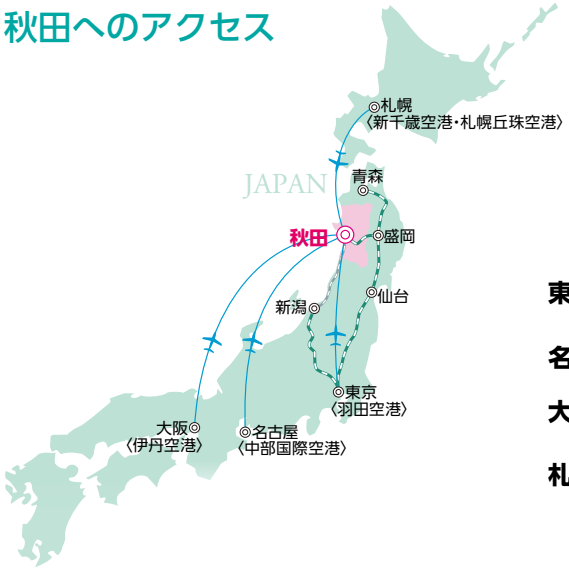
秋田大学受験生ポータルサイトから
https://www.akita-u.ac.jp/admission/

大学院入学について

各研究科によって、入学条件や出願、入試日程が異なります。自分の希望する研究科のウェブサイトを随時確認してください。

国際資源学研究科 ――――:https://www.akita-u.ac.jp/shigen/graduate/info.html
医学系研究科 ――――:https://www.med.akita-u.ac.jp/department/gs/kenkyu-selection.php
理工学研究科 ――――:https://www.riko.akita-u.ac.jp/graduate/prospectus/

秋田へのアクセス



東京から
- 羽田空港―秋田空港（1時間5分）
- 秋田新幹線「こまち」　東京駅―秋田駅（約4時間）

名古屋から
- 中部国際空港―秋田空港（約1時間25分）

大阪から
- 大阪国際（伊丹）空港―秋田空港（約1時間20分）

札幌から
- 新千歳空港―秋田空港（55分）
- 札幌丘珠空港―秋田空港（1時間5分）

Akita University

秋田大学 未来人材共創機構
〒010-8502 秋田県秋田市手形学園町1番1号
TEL+81-18-889-2258　FAX+81-18-889-3012
E-mail：ryugaku@jimu.akita-u.ac.jp
https://www.akita-u.ac.jp/honbu/global/ja/index.html

令和8年6月発行